

[フィプロニル・ジクロシメット・  
フラマトピル粒剤]

農林水産省登録 第20584号

性状: 類白色細粒

毒性: 普通物

危険物: —

有効年限: 5年

包装: 1kg×12袋

## デラウス® プリンス® リンバー® 箱粒剤

有効成分: フィプロニル(PRTR・1種)……1.0% ジクロシメット(PRTR・1種) ……3.0%  
フラマトピル ……4.0%



プリンスはBASF社の登録商標

こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農カサイトに掲載されている本剤の新しい情報がご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

### [適用と使用方法]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 ウンカ類 イナゴ類 コブノメイガ ニカメイチュウ イネミズゾウムシ イネドロオウムシ	育苗箱 〔30×60×3cm.〕 使用土壌約5ℓ 1箱当り50g	は種時 (覆土前) ～移植当日	本剤: 1回 フィプロニル: 1回 ジクロシメット: 3回 (#1) フラマトピル: 2回 (#2)	育苗箱の上から均一に散布する。

#1: 育苗土壌への混和及び育苗箱への処理は合計1回、本田では2回

#2: 移植時までの処理は1回



### 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて秤量し、使い切る。
- 本剤を播種時に処理する場合、高温条件下では薬害を生じる恐れがあるので注意する。また、湛水状態で育苗する方法(プール育苗等)は、薬害を生じる恐れがあるのでさける。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植する。
- 育苗箱処理においては、処理時の薬剤の育苗箱外へのこぼれや薬剤処理後の灌水によって、本剤の有効成分が地面に浸みこみ、他作物に吸収される可能性があるため、次の注意事項を守る。
  - 薬剤処理及び処理後の育苗は、原則として作物を栽培しない場所で行う。
  - 作物の栽培を予定している場所で、薬剤処理及び処理後の育苗を行う場合には、次の注意事項を守る。
    - ・土壌全面にビニールシートを敷くなど、地面への有効成分の浸透を防ぐ。
    - ・育苗後のシート撤去にあたっては、シート上に残った薬剤や灌水した水がこぼれないよう注意する。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期をすぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいねいに行い、移植後田面が露出したりしないように注意する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



### 安全使用上の注意

- フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効で

あると報告されている。

- 皮ふに付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。(刺激性)
- 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。(刺激性)
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しない。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管。

12頁記載の注意事項、(1)、(2)、(3)、(4)－Aも合わせてお読み下さい。

### 〔品目特性〕

- 3つの有効成分が水稻の2大病害と主要害虫に優れた効果を発揮します。デラウスはいもち病に、リンパーは紋枯病に、プリンスは主要害虫に有効です。
- 育苗箱処理で長期間効果が持続するので、本田での防除回数を減らすことができ省力的です。
- 育苗箱に処理するので周辺環境への負荷が少ない環境にやさしい薬剤です。